

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の進路実現に向けた教育課程を編成するとともに基礎学力の定着と発展的な学力の伸長を図る。</p> <p>②多様な学習機会や学習形態を提供し、看護・医療・社会福祉の専門教育の充実と共に将来の職に求められる教養を身につけていく。</p>	<p>①基礎学力の定着と発展的な学力の深化及び伸長を図る。</p> <p>②(1) 専門分野の更なる深化と学んだ知識や技能を実践する力を育成する。 (2) 生徒の主体的な学びを促進するとともにポートフォリオに蓄積することで、深い学びにつなげていく。</p>	<p>①週末課題の内容や、補習のあり方、Classi の活用方法などを検討し、基礎学力の定着に加え、発展的な学力の伸長と進路に応じた学力の深化を図る。</p> <p>②(1) 高専連携による専門分野の学習のより一層の充実を図る。 (2) Classi を活用することにより、日々の学習活動を蓄積し、主体的に学ぶ姿勢を育てるとともに、進路選択や振り返りに役立て、卒業後の進路決定に活用できるようにする。</p>	<p>①定期テストの結果や基礎力診断テストの結果を通じて学力下位の者の減少、上位者の増加ができたか。</p> <p>②(1) 学校外における学修の単位認定について該当単位を取得する生徒の数が増加したか。 (2) 主体的に学習する習慣がついたか。学習状況調査などの結果が上昇したか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①生徒の規範意識を高め、他者との協調性や自律する心を養う。</p> <p>②いじめ防止基本方針を実施して校内の安全を保つ。</p>	<p>①(1) 生徒情報を共有し、校内の支援体制の充実を図り、教育相談体制を充実させる。外部機関と連携が必要な場合は、速やかに連携を取れる体制を作る。 (2) 欠席・遅刻を生徒が自ら減少させるような意識を持たせる。</p> <p>②いじめを防止し、生徒一人一人が安心・安全に生活できる環境づくりに努める。</p>	<p>①(1) 生徒情報交換会の充実を図る。生徒が教育相談を利用しやすい環境を整備するとともに、教育相談チームを活用してきめ細かい生徒支援を行い、担任と SC、SSW との連携を図る。 (2) 授業の遅刻指導などを通して、看護・福祉の仕事ではとくに欠席・遅刻が許されないことを繰り返し指導する</p> <p>②平成 30 年4月改定のいじめ防止基本方針およびいじめ防止マニュアルによるいじめ防止に学校全体で取り組む。いじめアンケートの有効活用を図る。</p>	<p>①(1) 生徒情報交換会が計画通り実施できたか。また教育相談チームが有効に活用されたか。 (2) 欠席・遅刻の数が減少したか。（5%減少）</p> <p>②「いじめ防止指導等年間計画」による取組が計画通り実施できたか。いじめの認知件数が減少したか。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>①看護・医療・社会福祉などのヒューマンサービスに従事する人材を育成する。</p>	<p>①(1) キャリア意識を喚起し、ヒューマンサービスに従事する者としての資質の向上につながる取組を充実させる。</p>	<p>①(1) 情報を収集し進路選択をサポートできるように、模擬試験の活用を促し、積極的な受験を勧めるとともに、授業、模擬試験、夏季講座等を通して文章力を養う。</p>	<p>①(1) 模擬試験の受験者が増えたか。また、データが活用できたか。小論文についての講座や模擬試験を積極的に利用したか。それらの</p>

		<p>②「看護の心」「福祉の心」を培う教育活動を推進する。</p>	<p>(2)進路のモデルを見つけ、進路の方向性を確実にさせる。</p> <p>②進路実現のために、専門教科の学びを活かしたボランティアや体験活動の充実を図る。</p>	<p>(2)卒業生による進路相談を更に充実させ、学習の方法や進路選択の考え方、進路先への理解や意識づけを図る。</p> <p>②進路を意識したボランティアや体験活動への積極的な参加を促す。</p>	<p>取組が進路決定に反映されているか。</p> <p>(2)卒業生による進路相談により、進路選択の意識づけができたか。</p> <p>②進路を意識した体験やボランティア活動への参加者が増加したか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域の期待に応えられる学校づくりを進める。</p> <p>②地域と連携した防災体制の整備を具体化し、社会参画の意識を高める。</p>	<p>①(1)地域と連携し、生徒の委員会活動・部活動の発表の場を活性化させる。</p> <p>(2)学校運営協議会を活用し、地域の教育力を活かした取組を充実させる。</p> <p>②地域と連携した防災活動を実施する。</p>	<p>①(1)部活動・委員会による地域発表会やボランティアを充実させる。</p> <p>(2)学校運営協議会による助言を取り入れ、課題点を洗い出し、課題点の改善を図る。</p> <p>②周辺の県機関や自治会との連携を通して看護・福祉職における防災意識を涵養するとともに、DIGの実施により災害時の具体的な行動を考えさせる。</p>	<p>①(1)発表回数、参加生徒の満足度、地域からの評価が向上したか。</p> <p>(2)課題を発見し分析できたか。改善策に取組み課題改善を達成することができたか。</p> <p>②防災訓練、DIGへの参加回数、生徒・教員の参加人数・参加意欲が向上し、防災内容の共有がなされたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①学校の特色のPRの充実を図る。</p> <p>②情報管理を徹底し校務処理の情報化を進め事故・不祥事の根絶を図るとともに、改修工事中の生徒の安全、安心な学校生活の確保に努め、円滑な学校教育の推進を図る。</p>	<p>①学校の魅力をHPや学校説明会等を通じて発信していく。</p> <p>②(1)情報管理を含め、事故・不祥事の根絶を図る。</p> <p>(2)改修工事中の生徒の安全、安心な学校生活の確保に努め、円滑な学校教育の推進を図る。</p>	<p>①(1)生徒主体の学校説明会を実施する。FAX、広報活動による中学校への周知を図る。</p> <p>(2)HPを充実させ、本校の魅力を発信する。</p> <p>②(1)事故防止会議を年間10回以上実施し、事故・不祥事についての情報共有を徹底する。</p> <p>(2)円滑かつ安全に、仮設校舎への移動が行われるよう、事前に十分な計画と準備を行う。</p>	<p>①(1)学校説明会等の来校者へのアンケート結果で本校の特色が中学生などに理解されたか。</p> <p>(2)HPの更新回数が増え、内容がより充実したか。閲覧数が増加したか。</p> <p>②(1)事故防止会議が計画通り実施され、事故・不祥事をゼロにできたか。</p> <p>(2)事故なく安全に仮設校舎への移動が行われたか。仮設校舎において、安全・安心な教育活動が行えたか。</p>